

防災・減災に向けた今後の取組は



黒田 秀一 議員
(自由民主党・無所属の会)



問 防災無線整備の今後のスケジュールについて。

答 今年度は基地局を設置する予定で、個別受信機の配布に当たってアンケートを実施しているところです。また、市内全域を網羅する情報伝達システムの実施設計について、スマートフォンを活用したシステム構築に向けて進めています。

問 職員の防災士、防災リーダー資格取得について。

答 男女に関係なく、できる限り積極的に取得するよう進

めるとともに、職員向けに防災意識向上に向けた啓発をしていきたいと考えます。

問 防災監の設置について。

答 防災監の職責をはじめ、組織や人員確保など解決すべき課題が多いこともあり、現時点では防災監の採用は考えていません。6月から自衛官OBの方を災害対策担当の防災支援員として採用しており、アドバイスをいただきながら災害対応の体制充実を図りたいと考えます。

問 旧市街地の狭隘道路では、災害時の緊急車両等の活動に支障を来している。狭隘道路の拡幅の現状は。

答 北条旧市街地では建物の新築や改築の際、4メートルの道路幅員を確保できるように所

有地を道路用地として提供していただき、道路拡幅工事を実施して緊急車両の通行を可能にし、防災減災につなげています。

平成29年度から令和3年度までの5年間で測量、分筆登記などの委託業務11件、拡幅工事を7件、129メートル実施しています。土地の提供や寄附に対する奨励金は、後退道路用地は1平米当たり1万円、隅切り道路用地は1平米当たり2万円です。

問 家の持主が道路にブロックを積むなどして応じない場合の対応は。

答 法律上は、道路中心から2メートル後退する義務が生じますが、そのブロックを撤去するなどの権限はないため、願いのしかない状況です。地域の防災力向上のため、協力していただくよう努めます。

安全安心なまちづくりと全国に誇れる教育都市加西の実現を



丸岡 弘満 議員
(自由民主党・無所属の会)



安全安心なまちづくり

問 県道多可北条線の河内町二ヶ坂から北条方面へ続くバイパス区間について、防犯灯の設置の進捗状況は。

答 河内南交差点までの間に26灯、河内北交差点から西脇市との市境付近までの間に32灯のLED灯を設置する計画です。

問 昨年9月議会で、西脇市の明楽寺交差点までの区間の防犯灯設置は極めて困難との答弁があり、その後、県や西脇・多可選出の県会議員等へ要望活動を行った。西脇市の高校へ通う多く

の生徒の通学路として利用されているが、防犯灯は設置されるのか。

答 既設の1箇所をLED灯に交換し、8箇所を新設する予定で、工期は7月から8月中旬であると西脇市に確認しました。

問 千葉県で発生した下校中の児童死亡事故を受け、通学路の安全確保は喫緊の課題である。県道下滝野市川線の在田郵便局前、上野の交差点付近、下道山町の側溝蓋掛けなど、市内に11ある危険箇所の安全対策は。

答 昨年8月の合同点検の後、ソフト面及びハード整備のうち即座に対応できるものは既に実施し、多くの費用が必要なものは継続案件として取り組んでいきます。また、今年度に始まった地元要望による中規模の修繕工事では、路線設定に当たり通学路の安

全確保の観点もお願いしていきたいと考えます。

全国に誇れる教育都市加西

問 免許更新制度が廃止されるが、教員の指導力や資質の向上策は。人員も予算も増やす必要がある。今の人員体制で大丈夫か。

答 社会や学校のニーズは多様化、複雑化、困難化していますが、現在の教育課題の多くの部分を総合教育センターが担っています。業務は多岐にわたりますが、免許更新制度後の新制度においても、研修講座の開設や学校管理職への個別の助言等により対応したいと考えます。

■その他の質問項目

- ・ かせい田園都市構想について
- ・ 空き家対策について